

平和記念式典へ中学生出発



平和記念式典に出発する中学生を激励＝8月5日朝、石動駅前

広島市の平和記念式典に小矢部市が派遣する中学生代表8名が8月5日朝、石動駅前から出発しました。

小矢部市長が駆けつけ、世界平和市長会に加わる小矢部市の取り組みの意義を説き、式典の生の空気を持ち帰ってみんなに伝えてもらいたいと激励しました。小矢部平和委員会からも一行に激励金が渡されました。この派遣により、ヒロシマの苦しみと悲しみを後世に伝え、それを繰り返さない知恵を見つけて出す努力の根源となることが期待されます。

「式典の生の空気を皆に伝えて」

桜井市長が激励

全国的には、比例代表選挙で515万4千票(9.68%)を獲得し、前回参院選の356万票を15.9万票、昨年の衆議院選挙の369万票を14.6万票上回りました。選挙区選挙では東京(改選5)で12年ぶり、大阪(改選4)と京都(改選2)で15年ぶりに、それぞれ

比例代表で515万人が「共産党」に投票

参院選

参院選で日本共産党は3議席から8議席に大躍進し、非改選の3議席に加えて11議席となりました。その結果、参議院で議案提案権を持ち、党首討論もでき、発言力が強まります。国民の皆さんのいろいろな要望実現の大きな力となります。

日本共産党 大躍進

3←8議席に



No.180
2013年8・9月号

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗
日刊紙 毎月3,400円
日曜版 毎月800円

「議席が増えてよかったね」 小矢部市でも、期待の声

富山県でも得票率はまだまだ低いですが、それでも比例代表で20、720票、前回参院選の1.2倍に増やし、小矢部市でも556票、前回比1.8倍となりました。選挙区選挙で高橋わたる候補は、県全体で51、569

安倍政権の危険な動きと対決 公約実現へ国民的共同広げる共産党

安倍政権が「憲法改悪」集団的自衛権を容認しアメリカの戦争に自衛隊を参加させる「原発の再稼働」「消費税増税」「社会保障削減」などの危険な動きを強めています。日本共産党はこれと正面から対決し、国民のみなさんとの



6月議会 砂田市議が賛成討論

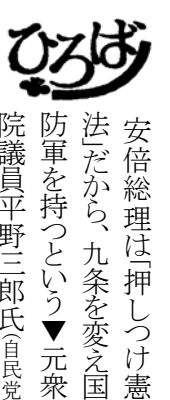
富山県農民運動連合会砺波支部小矢部班(班長・辻慶輝氏)が提出したTPP交渉からの即時撤退を求める請願が6月市議会最終日の21日に採決され、日本共産党の砂田市議が賛成討論をしました。自民党所属議員らの反対で不採択となりました。

TPP 農業への被害

全国で 富山県が 最大

「TPP脱退を 求める大学人の会」 が試算

「TPP参加交渉からの即時脱退を求める大学人の会」が896名の研究者が結集して発足し、19品目の農作物の関税を撤廃した場合、都道府県ごとのような影響があるかを試算しました。試算によると、生産減少額の多い上位3県は、富山県327億円(43.8%)、福井県212億円(41.2%)、北海道464億円(40.3%)です。農家の所得減少額の多い上位3県は、富山県73億円(減少率33.5%)、沖縄県118億円(28%)、福井県44億円(24.8%)です。生産額、所得のいずれも、富山県がいちばん大きな打撃を受けることが明らかとなりました。



安倍総理は「押しつけ憲法だから、九条を変えて国防軍を持つ」という▼元衆議院議員平野三郎氏(自民党)大野派のメモ「幣原先生から聴取した戦争放棄条項等の生まれた事情について」(昭和39年2月)を見つけた。「お話を伺ったのは、昭和二十六年二月下旬のこと...戦争放棄条項や天皇の地位について日頃疑問に思っていた点を中心にお尋ねし、幣原先生にお答え願った」▼幣原元首相(昭和20年10月〜21年5月)は戦後日本のあり方として、戦争放棄と、「国体」の護持(天皇の戦犯除外、「人間化」を考えた。しかし「国体」に触れることを日本側からは口にできない。そこで、マッカーサー元帥の命令で出してもらおうと、昭和21年1月24日に二人きりで話し込んだ。元帥は九条の永久的な規定には驚き躊躇したが、最後は理解してくれたそう。九条はアメリカの「押しつけ」ではないとの当事者による証言だ▼幣原氏は言う。「元帥が躊躇した大きな理由は、アメリカの侵略に対する将来の考慮と、共産主義者に対する影響の二点であった。それについて僕は言った。日米親善は必ずしも軍事一体化ではない。日本がアメリカの尖兵となることが果たしてアメリカのためであるか。原子爆弾はやがて他国にも波及するだろう。次の戦争は想像に絶する。世界は亡びるかも知れない。世界が亡びればアメリカも亡びる。問題は今やアメリカでもロシアでも日本でもない。問題は世界である。いかにして世界の運命を切り拓くかである。」▼天国からの声として、安倍総理に聞かせてやりたいものだ。